

# 精神保健福祉センター所報

平成 27 年 度

新潟県精神保健福祉センター

# 巻 頭 あ い さ つ

平成 27 年度の新潟県精神保健福祉センター所報をお届けします。この 1 年間の活動に御協力いただいた関係各位に深く感謝するとともに、本号を御高覧のうえ忌憚のない御意見・御指導を賜りますようお願い申し上げます。

新潟県精神保健福祉センターの平成 27 年度事業を振り返ってみると、主な課題は自殺対策、精神科長期入院患者の地域移行・地域定着支援、高次脳機能障害相談支援の三者でした。自殺対策に関しては市町村自殺対策企画立案向上研修、市町村・県の各地域機関との協働によるゲートキーパー養成、ポストベンション研修会、自死遺族等支援者研修会、自死遺族語り合いの会「虹の会」運営支援を実施しました。長期入院患者の地域移行・地域定着支援に関しては普及啓発、県地域移行支援部会下部組織「人材育成チーム」の企画による多職種連携による地域移行を目指す人材育成研修、ピアサポート活動の推進等を行いました。高次脳機能障害相談支援に関しては、同相談支援センター事業として事例を重ねるとともに、フォーラム等のイベントによる普及啓発、家族のつどい、専門職員向け研修等を引き続き実施しました。

ひきこもり支援に関しては当事者グループ「シェスタ」を引き続き支援するとともに、家族を対象とするつどい、支援者を主な対象に思春期青年期精神保健研修を兼ねた講演会を開催しました。また、平成 25 年度に設置されたひきこもり支援センターに関し、各地域振興局と連携した相談等を実施しました。

災害精神保健に関しては新潟県精神保健福祉協会が東日本大震災後の福島避難者支援のためのふくしま支援者サポート事業を受託していますが、協会事務局として同事業事務局を支援しました。

精神障害者家族会等関係団体との連携、精神保健福祉相談の充実、ホームページ等を通じた積極的な情報発信はいずれも引き続き専門機関として今後につなげていくべき大きな課題といえるでしょう。こうした活動の基礎となる精神保健福祉専門職員の知識・技術習得の機会としての研修事業は、年度内で日程が集中することのないよう計画を立てて実施しました。今後とも県民の皆様のニーズにお応えすべく研鑽を積んでまいります。

最後になりましたが、日ごろより当センターの各種事業に御支援・御協力をたまわる関係各位に厚く感謝申し上げますとともに、今後とも倍旧の御支援をお願いして、巻頭のごあいさつといたします。

平成 28 年 12 月

新潟県精神保健福祉センター

所長 阿部 俊幸

# 目 次

## I センターの概要

1 職種別職員構成	1
2 予 算	1
3 施 設 の 概 要	2

## II 事業実績

1 技術指導及び技術援助	4
2 教育研修	7
3 普及啓発	10
4 調査研究	11
5 精神保健福祉相談	12
6 組織育成・支援	14
7 精神医療審査会事務	15
8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務	17
9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供	18
10 自殺対策	20
11 思春期精神保健相談事業	28
12 ひきこもり地域支援センター事業	31
13 災害後の精神保健福祉対策	33
14 障害者総合支援法関連事業	34
(1)精神障害者地域移行・地域定着支援事業	34
(2)高次脳機能障害相談支援センター事業	37
15 依存症対策	43
16 協議会等	45

# I センターの概要

## 1 職種別職員構成

形態 \ 職種	医師	精神保健福祉 相談員（心理 含む）	看護師	高次脳機能 障害相談支 援コーディネ ーター	一般事務	計
常勤	1(2)	5	1		2	9(2)
非常勤	7			1		8
計	8(2)	5	1	1	2	17(2)

※（ ）は県立新発田病院・県立小出病院との兼務である。

## 2 予 算

### (1) 歳 入 (円)

科 目	調定額	収入額
(款) 使用料及び手数料	1,908,708	1,908,708
(項) 使用料	1,908,708	1,908,708
(目) 行政財産使用料	1,908,708	1,908,708
(節) 土地使用料	74,800	74,800
(節) 建物使用料	1,833,908	1,833,908
(款) 諸 収 入	1,779,932	1,779,932
(項) 雑 入	1,779,932	1,779,932
(目) 雑 入	1,779,932	1,779,932
(節) 雑 入	1,779,932	1,779,932

### (2) 歳 出 (円)

科 目	予算額	支出済額
(款) 福 祉 保 健 費	8,892,311	8,892,311
(項) 障害福祉費	8,892,311	8,892,311
(目) 精神保健福祉センター費	8,892,311	8,892,311
(節) 報 酬	124,800	124,800
(節) 報償費	65,100	65,100
(節) 旅 費	384,904	384,904
(節) 需用費	5,149,549	5,149,549
(節) 役務費	365,435	365,435
(節) 委託費	2,608,513	2,608,513
(節) 使用量及び賃借料	88,010	88,010
(節) 負担金・補助及び交付金	106,000	106,000
(節) 公課費	0	0

(\*職員の給与、精神障害者保健福祉手帳等の事務及び精神医療審査会事務経費を除く。)

### 3 施設 の 概 要

(1) 名 称 新潟県精神保健福祉センター

(2) 所 在 地 〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3

新潟ユニゾンプラザハート館

代表電話 025 (280) 0111

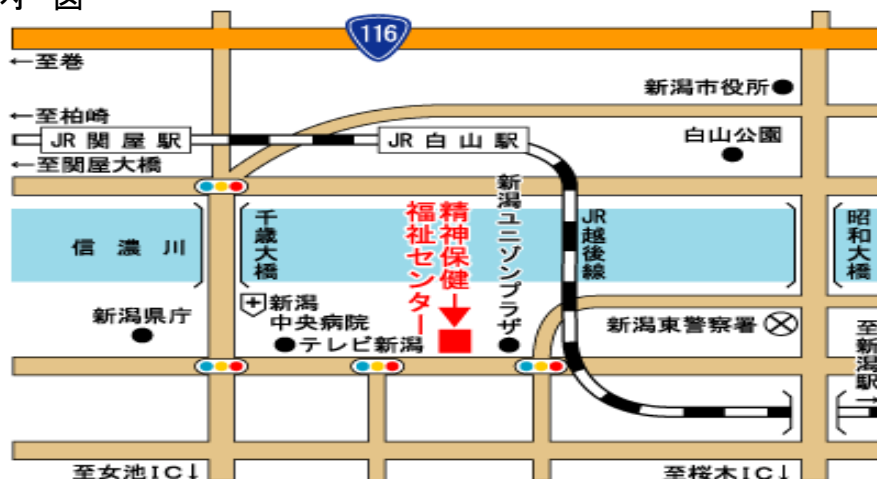
相談電話 025 (280) 0113

F A X 025 (280) 0112

(3) 沿 革

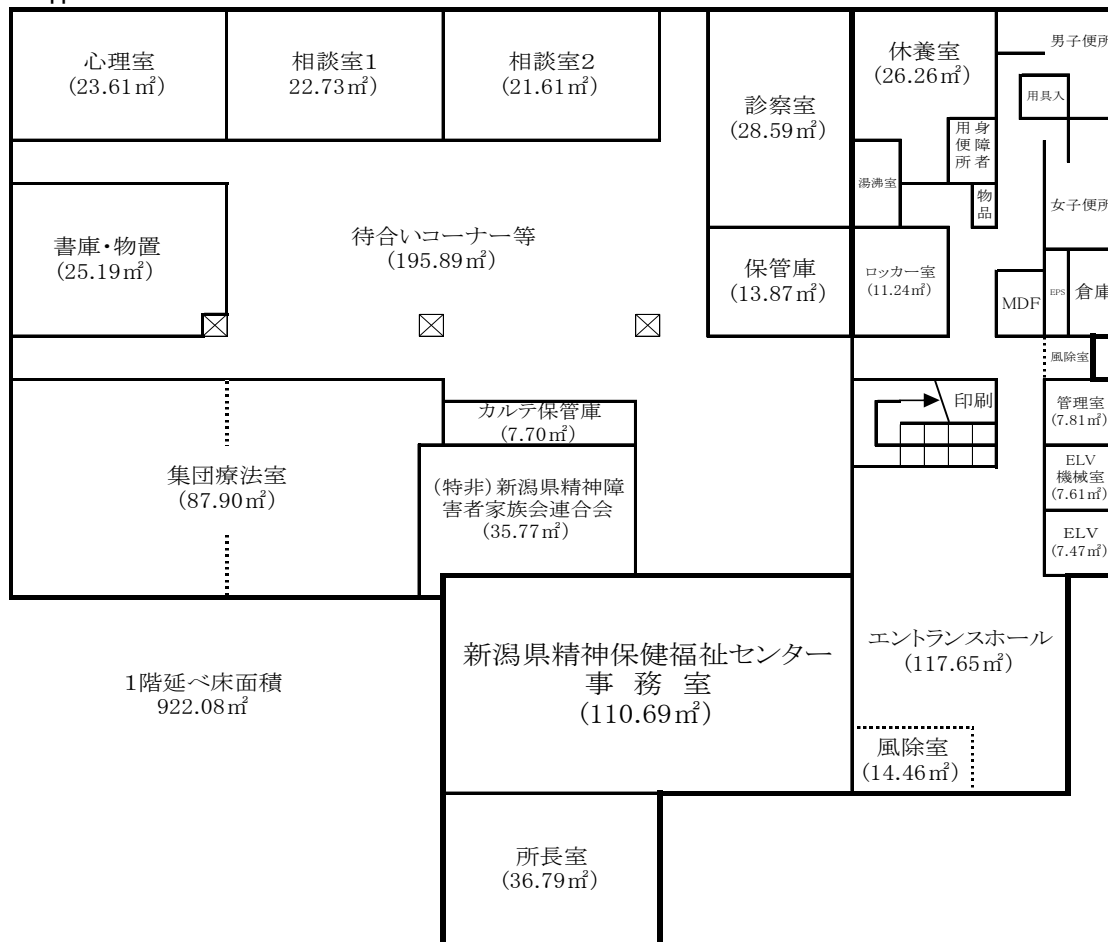
- 昭和43年4月1日 新潟市川岸町1丁目57番地1に厚生相談センター（中央児童相談所、婦人相談所を加えた合同庁舎）の3階と2階の一部に「新潟県精神衛生センター」として設置。庶務課と相談指導課の2課制。専任職員12名
- 昭和46年4月1日 専門職員が1名削減され、11名
- 昭和58年4月1日 規制改正により課制廃止となり業務分担制となる。庶務課分掌事務は衛生部医務課庶務係の所管となる。専任職員11名が7名に削減
- 昭和63年3月29日 精神衛生法の改正により、「精神保健センター」に改称
- 平成7年4月1日 平成7年3月に中央児童相談所等の移転に伴い、庁舎名を精神保健センターへ名称変更。単独庁舎となる。所管は環境保健部公衆衛生課
- 平成7年7月10日 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により、「新潟県精神保健福祉センター」に改称
- 平成10年 庁舎の大規模改修（耐震補強）工事が行われる。
- 平成13年4月1日 専任職員（事務）1名が増員され8名体制となり、庶務的分掌事務が福祉保健部健康対策課から移管  
精神医療審査会の事務、精神障害者保健福祉手帳と自立支援医療（精神通院）に関する判定の事務も移管
- 平成14年4月1日 専任職員（精神保健福祉相談員）1名が増員され9名体制となる。
- 平成16年3月8日 新潟市上所2丁目2-3新潟ユニゾンプラザハート館へ移転  
相談専用電話の開設
- 平成22年4月1日 高次脳機能障害相談支援センター開設。相談専用電話が設置され、翌年1月には専任コーディネーターが配置される。
- 平成25年4月17日 障害福祉課内に開設された「新潟県ひきこもり地域支援センター」を支援するため当所に専用相談電話を開設。研修・啓発・技術支援も当所が担当

(4) 案 内 図

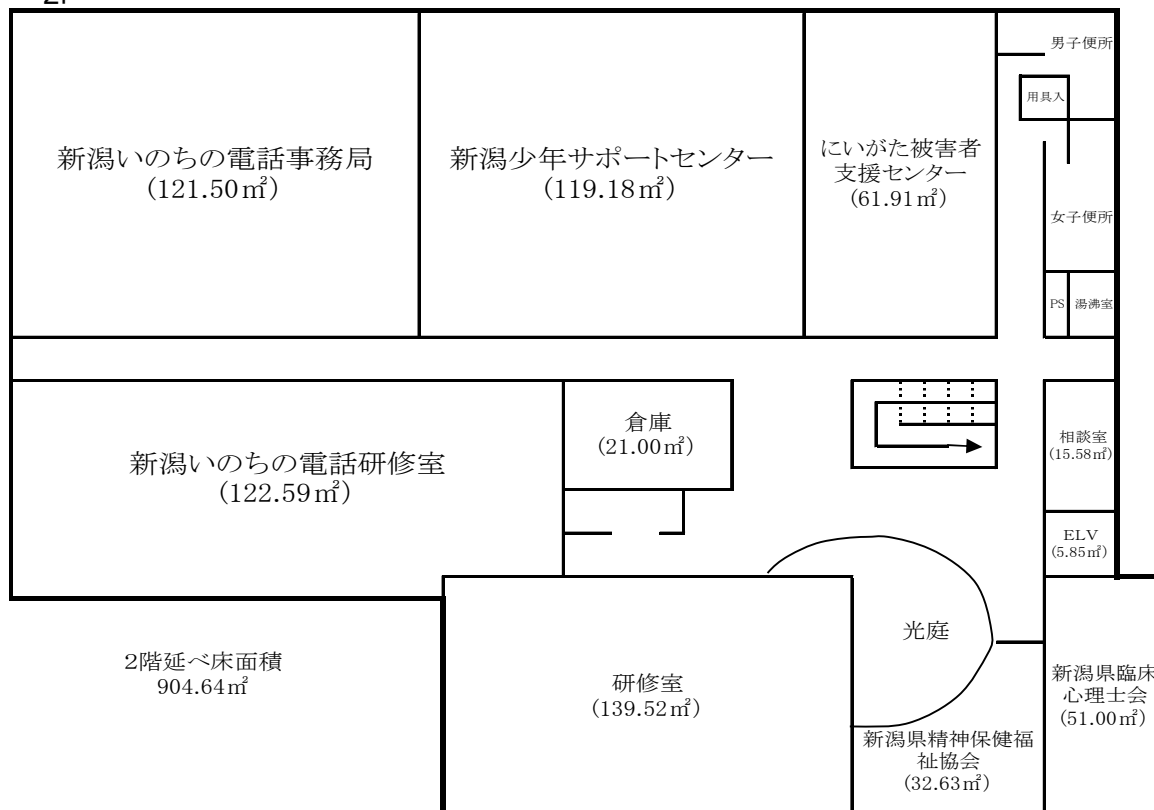


(5) 施設配置図

1F



2F



## Ⅱ 事業実績

### 1 技術指導及び技術援助

地域振興局健康福祉(環境)部をはじめとして、関係機関からの要請に応じ職員を派遣し、技術支援等を行った。

○保健所・主管課

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
村上地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	23人
新発田地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	30人
	○下越地域いのちとこころの支援センターケース検討会(2回)	情報提供	7人
	○下越圏域障害者地域生活支援連絡調整会議精神障害者地域移行部会	情報提供	20人
	○下越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	38人
新潟地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	32人
	○新潟圏域精神障害者地域移行・地域定着支援事業に関する打ち合わせ	技術支援	3人
	○精神科病院と地域機関の連絡会に関する打ち合わせ(2回)	技術支援	9人
	○新潟圏域精神障害者地域移行支援部会	助言	20人
	○新潟圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	51人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会(2回)	情報提供	73人
	○県央圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	59人
	○高次脳機能障害当事者・家族のつどい	技術支援	24人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○自殺対策事業打ち合わせ	技術支援	1人
	○中越地域いのちとこころの支援センターケース検討	助言	3人
	○中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会	情報提供	43人
	○中越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	49人
	○高次脳機能障害家族のつどい(4回)	技術支援	24人
魚沼地域振興局 健康福祉部	○自殺ハイリスク者支援研修会	技術支援	12人
	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	27人
	○ひきこもり支援に関する検討会	情報提供	9人
南魚沼地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	31人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○地域自殺対策推進協議会(2回)	情報提供	47人
	○相談窓口担当者研修会	技術支援	18人
	○関病院地域連絡会	情報提供	27人
上越地域振興局 健康福祉環境部	○ポストベンション(2回)	技術支援	11人
	○上越圏域高次脳機能障害支援従事者研修会	情報提供	34人
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○地域自殺対策推進協議会	情報提供	29人
	○高次脳機能障害家族のつどい(3回)	技術支援	15人
県障害福祉課	○新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会	助言	24人
	○新潟県自殺対予防策推進県民会議(2回)	運営支援	197人
	○いのちとこころの支援センター業務連絡会(3回)	技術支援	30人
	○新潟青陵大学ゲートキーパー研修打ち合わせ	助言	2人
	○新潟青陵大学ゲートキーパー研修	講師	22人
	○ポストベンション(3回)	技術支援	17人

	○新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会（2回）	技術支援	29人
	○新潟県地域生活支援センター事業担当者連絡会議	技術支援	42人
	○県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会人材育成チーム全体会（2回）	技術支援	21人
	○県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会人材育成チームワーキング（4回）	技術支援 助言	26人
	○障害者地域生活支援センター事業相談支援拠点担当者打ち合わせ（2回）	技術支援	13人
	○県央圏域障害者地域生活支援センター事業打ち合わせ	技術支援	5人
	○地域移行支援研修会に関する打ち合わせ	技術支援	2人
	○新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（2回）	技術支援	31人
	○新潟県精審保健福祉審議会	情報提供	26人
	○新潟県ひきこもり対策連絡協議会	技術支援	21人
	○新潟県自立支援協議会（3回）	技術支援	103人
	○新潟県自立支援協議会担当者会議（2回）	情報提供	53人
	○新潟県措置入院制度連絡調整会議	技術支援	21人
	○精神保健指定医会議・精神科病院事務長看護部長会議	情報提供	108人
	○県央地域の精神医療体制を考える会	技術支援	26人

○関係機関（県）

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
男女平等社会推進課	○男女平等推進相談員新任者研修	講 師	2人
消費生活センター	○メンタルヘルス講習	講 師	8人
高齢福祉課	○介護予防市町村支援委員会（部会） ○新潟県地域包括支援センター職員等研修	情報提供 講 師	10人 282人
児童家庭課	○新潟県要保護児童対策地域協議会 ○新潟県配偶者暴力防止実務担当者会議・新潟県配偶者暴力防止連絡会議	情報提供 技術支援	32人 43人
コロニーにいがた白岩の里	○アドバイザー事業担当者連絡会議（2回）	助 言	32人
発達障がい者支援センター「RISE（ライズ）」	○新潟県発達障がい者支援連携会議 ○第1回発達障がい者地域支援マネージャー担当者会議	情報提供 技術支援	22人 30人
県立精神医療センター	○行動制限最小研修	講 師	70人
県警察本部	○警察相談担当者専科授業	講 師	30人
消防学校	○消防団指揮科研修	講 師	69人
県立看護大学	○学生研修	情報提供	12人

○関係機関（その他）

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
燕 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	14人
見 附 市	○こころのゲートキーパー研修会（2回）	講 師	40人
魚 沼 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	17人
柏 崎 市	○ひきこもり事例検討会	助 言	5人
津 南 町	○こころの健康づくり検討委員会及びいのちの環代表者会議	情報提供	23人
上 越 市	○上越市自殺予防対策関係機関連携会議	助 言	32人
糸 魚 川 市	○こころのゲートキーパー研修会	講 師	23人



新潟市地域包括支援センター 山 の 下	○山の下圏域訪問介護事業所連絡会議	講 師	17 人
新発田市社会福祉協議会	○若者自立支援事業「親のサロン」 ○若者自立支援のための関係機関・団体情報交換会	講 師 情報提供	5 人 15 人
加茂市社会福祉協議会	○平成 27 年度思いやりの地域づくり講習会	講 師	30 人
新潟障害者職業センター	○新潟地域精神障害者雇用支援連絡協議会	情報提供	12 人
保 護 観 察 所	○新潟県薬物事犯者等地域支援連絡協議会 ○覚せい剤事犯者等の地域支援に関する打ち合わせ ○覚せい剤事犯者等の地域支援担当者会議（5 回） ○薬物問題講習会	情報提供 助 言 情報提供 講 師	26 人 1 人 40 人 28 人
新 潟 大 学 歯 学 部	○新潟大学歯学部講義	講 師	28 人
新 潟 地 方 気 象 台	○メンタルヘルス講習	講 師	21 人
新潟県被害者支援連絡協議会	○新潟県被害者支援連絡協議会定期総会 ○新潟県被害者支援連絡協議会	情報提供 情報提供	121 人 59 人
日本精神科看護協会県支部	○求職者に対するこころと身体健康相談会カンファレンス	助 言	8 人
新潟県作業療法士会	○第 12 回新潟県作業療法学会	講 師	41 人
地域生活支援センター は ま な す	○下越圏域ピアサポートを考える会定例会	技術支援	14 人
新潟薬物依存症家族会 新 潟 ダ ル ク	○新潟県薬物依存症フォーラム	情報提供	250 人
自死遺族語り合いの会 「 虹 の 会 」	○例会の運営支援（6 回）	技術援助	37 人
新潟県理容生活衛生 同 業 者 組 合	○県理美容生活衛生同業組合ゲートキーパー事業推進会議	技術支援	12 人
ニチイ学館新潟支店	○ケアマネ研修	講 師	35 人
計	126 回		3,184 人

## 2 教育研修

精神保健福祉業務従事者及び関係機関の職員に対して研修を行った。

### (1) 精神保健福祉業務担当者研修会

地域振興局健康福祉(環境)部、市町村の精神保健福祉相談員、保健師等の職員を対象に、専門分野の技術向上のための研修会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
平成 27 年 12 月 16 日 (精神保健福祉 センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「自殺のポストベンションとしての場のケア」 講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 自殺予防総合対策センター 自殺予防対策支援研究室長 川野 健治</li> </ul>	21 人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「自死遺族への支援について」 講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 自殺予防総合対策センター 自殺予防対策支援研究室長 川野 健治</li> <li>・実践報告「自死遺族支援の取り組みから」 &lt;個別支援&gt; 報告者：十日町地域振興局健康福祉部 精神保健福祉相談員 金子 郁美</li> <li>&lt;自助グループ支援&gt; 報告者：自死遺族語り合いの会「虹の会」 世話人 精神保健福祉センター 副参事 河村 里絵</li> </ul>	34 人

※ポストベンション研修会及び自死遺族等支援者研修会と兼ねて実施した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
平成 28 年 3 月 13 日 (精神保健福祉 センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「精神保健福祉法の解釈と運用～入院制度を中心に～」 講師：新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 講師 野口 晃</li> <li>・意見交換「措置入院及び受診援助における現状と課題について」 助言者：新潟医療福祉大学 社会福祉学部社会福祉学科 講師 野口 晃</li> </ul>	18 人

※新潟県精神保健福祉相談員会と共催で、同会の業務研修会と兼ねて実施した。また、法令専門研修会とも兼ねて実施した。

### (2) ケース処遇研修

高次脳機能障害者等の相談支援に従事する者を対象に、新潟神経心理懇話会の協力を得て、高次脳機能障害者の支援技術等を習得するための事例検討会を開催した。

月日 (会場)	内 容	参加者数
7月17日 11月27日 平成28年 3月7日 (精神保健福祉 センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討事例 「興奮時の対応や家族の障害受容の支援について」 「在宅介護が可能になり、サービス利用が終了した方への支援」 「記憶障害や他者に対するクレーム・固執など問題行動のある方への対応や支援について」 「就労継続支援B型に通所している方への家族も含めた支援体制の構築について」</li> <li>・事例提供者： 新潟市障がい者基幹相談支援センター西 主任相談員 竹田 一光 白根緑ヶ丘病院 精神保健福祉士 柳原 美季 ジャパンケア柏崎松波 管理者・介護支援専門員 荒川 恵子 柏崎市社会福祉協議会 管理者 品田 早苗 らいふ・すていしょん 生活支援員 小出 千秋 阿賀野病院 医療ソーシャルワーカー 佐藤 祐美 魚野の家 生活支援員 白井 佳介</li> <li>・助 言 者：新潟医療福祉大学 医療技術学部言語聴覚学科 同大学 大学院保健学専攻 教授 今村 徹</li> </ul>	54人 (延73人)

※高次脳機能障害ケース検討会と兼ねて実施した。

### (3) 精神保健福祉業務新任者研修会

地域振興局健康福祉(環境)部、市町村、精神科医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、地域活動支援センター等において、精神保健福祉業務の従事経験が3年未満の職員を対象に、精神保健医療福祉に関する基礎的事項の理解を促す研修会を実施した。

	月日 (会場)	内 容	参加者数
第1日	6月22日 (新潟ユニゾン プラザ 大会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神保健福祉相談の基礎知識 ～相談援助業務における協働と留意点～」 講師：一般社団法人 上越相談支援ネットワーク 上越基幹相談支援センター センター長 丸山 ひろみ</li> <li>・「精神保健福祉法と県の精神保健福祉施策の概要」 講師：県福祉保健部障害福祉課のちとこころの支援室 政策企画員 大橋 正明</li> <li>・「新潟県精神保健福祉センターの紹介」 新潟県精神保健福祉センター職員</li> <li>・「精神疾患の基礎知識(精神医学概論)」 講師：医療法人恵生会 南浜病院 院長 後藤 雅博</li> </ul>	94人 (延179人)

第2日	6月29日 (新潟ユニゾン プラザ 大研修室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「精神保健福祉施策の変遷とノーマライゼーション」 講師：新潟医療福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 講師 野口 晃</li> <li>・「対人援助職のメンタルヘルスとセルフケア」 講師：臨床心理士 榎谷 晶子</li> <li>・「精神疾患を持つ方が利用できる制度とサービス」 講師：県央圏域障害者地域生活支援センターやすらぎ アドバイザー（精神保健福祉士）杉山 敦彦</li> <li>・「御本人と御家族の経験から学ぶ」 話し手： 御本人、御家族 コーディネーター：アドバイザー（精神保健福祉士）杉山 敦彦</li> </ul>	
-----	----------------------------------	--	--

#### (4) 精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー

当県の精神医療・保健・福祉に関する多職種の関係者が一堂に会した質の高い研修の機会を提供するため、新潟県精神医療機関協議会、新潟県精神障害者家族会連合会、新潟県精神保健福祉士協会及び新潟県精神障害者社会福祉施設協議会とともに毎年テーマを決めて開催。

月日（会場）	内 容	参加者数
平成28年 2月19日 (新潟県民会館 小ホール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「潜んでいる青年の回復力に会うには」 講 師：日本臨床心理士会 会長 村瀬 嘉代子</li> <li>・シンポジウム「若者支援の実際」 シンポジスト： 万代こころのクリニック 精神保健福祉士 五十嵐 礼 新潟県精神保健福祉センター 主査 清野 美佐緒 三条地域若者サポートステーション 統括コーディネーター 関野 香織 NPO 法人 えちご若者元気塾 理事長 藤田 健男 新潟大学医学部医学科総合医学教育センター 准教授 澁谷 雅子</li> <li>座 長：南浜病院 院長 後藤 雅博 助言者：基調講演講師 村瀬 嘉代子</li> </ul>	242人

#### (5) 学生実習

学生の職業意識向上のための機会提供と行政に対する理解を深めることを目的とし、2回、2名の学生を受け入れた。

- 1 実習受入期間 第1回：12日間（平成27年10月28日～11月18日）  
第2回：10日間（平成28年2月15日～2月26日）
- 2 受入学校・人数  
高崎福祉医療カレッジ 1名  
国際子ども・福祉カレッジ 1名
- 3 実習プログラム 講義、会議、研修会等への参加

### 3 普及啓発

県民の精神的健康の保持増進をはかり、関係機関に対して精神保健医療福祉に関する情報等を提供するため、以下の広報普及活動を行った。

#### (1) 関係機関・団体等の開催する講演会・研修会等への援助

関係機関・団体等の要請に応じ職員を派遣し、精神保健に関する知識の普及啓発につとめた。

要 請 機 関	期 日	内 容	参加者数
ニチイ学館新潟支店	7月24日	ケアマネ研修	35人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	8月2日	長岡まつり「街頭キャンペーン」	/
県障害福祉課	9月18日	民法ラジオ合同自殺予防キャンペーン	
新潟県消費生活センター	平成28年1月6日	メンタルヘルス講習	8人
新潟県障害福祉課	平成28年2月2日	新潟青陵大学ゲートキーパー研修	22人
新潟地方气象台	平成28年2月25日	メンタルヘルス講習	21人
計			86人

#### (2) DVD等の貸し出し

精神保健福祉について正しい知識の普及を図るため、DVDや書籍等の貸し出しを行った。

貸出先	保健所	市町村	病院	地域活動支援センター等	その他	計
件数	33	3	7	11	10	64

#### (3) 機関誌等の発行

##### ア「精神保健福祉情報マップ」の発行

県内の精神保健福祉関連の社会資源の情報共有と各機関における業務で活用できるよう、「精神保健福祉情報マップー平成27年度版ー」（発行部数800部）を発行し、関係機関に配布した。

##### イ「精神保健福祉だより」の発行

県民や関係者に必要な精神保健医療福祉に関するタイムリーな情報を提供するため、「精神保健福祉だより」（130号 H28年2月発行）を発行し、関係機関に配布した。

##### ウ「ビデオ広報目録」の発行

精神保健福祉センターが所有しているビデオやDVDの目録を年1回作成・配布し、関係機関職員の研修や県民への普及啓発に活用できるようにした。

## 4 調査研究

精神保健福祉活動を推進するため事業のまとめ・調査等を行った。

### 保健所等における精神保健福祉業務に関する検討会

	テーマ	担当者	期日
第1班	「保健所精神保健福祉業務運営要領等の改訂」	精神保健福祉 相談員代表者	①12月16日：6人 ②平成28年1月8日：6人 ③平成28年2月6日：7人 ④平成28年3月13日：6人
第2班	「精神保健相談日報等の改訂」	精神保健福祉 相談員代表者	5月29日：6人

## 5 精神保健福祉相談

### (1) 精神保健福祉相談

来所者及び地域振興局健康福祉(環境)部等の複雑困難な事例について、精神保健福祉相談及び精神医学的診断・指導助言を行い、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 年次別利用者数

	平成 25 年度				平成 26 年度				平成 27 年度			
	実人数		延人数		実人数		延人数		実人数		延人数	
来所	80	男	61	256	102	男	76	288	88	男	61	283
		女	19			女	26			女	27	
電話	836	男	422	1,442	781	男	391	1,680	710	男	369	2,289
		女	392			女	377			女	314	
		不明	22			不明	13			不明	27	
計	916	男	483	1,698	883	男	467	1,968	798	男	430	2,572
		女	411			女	403			女	341	
		不明	22			不明	13			不明	27	

#### イ 男女別・年齢別実件数

		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	不明	計
来所	男	0	8	10	18	9	12	3	1	0	61
	女	0	2	10	5	3	2	3	2	0	27
	計	0	10	20	23	12	14	6	3	0	88
電話	男	0	35	64	50	56	49	23	14	78	369
	女	1	29	36	40	31	23	21	12	121	314
	不明	0	6	1	2	0	0	1	1	16	27
	計	1	70	101	92	87	72	45	27	215	710
計	男	0	43	74	68	65	61	26	15	78	430
	女	1	31	46	45	34	25	24	14	121	341
	不明	0	6	1	2	0	0	1	1	16	27
	計	0	80	121	115	99	86	51	30	215	798

#### ウ 保健所管内別実件数

	新潟市	下越				中越						上越		県外	不明	計
		村上	新発田	新津	佐渡	三条	長岡	魚沼	南魚沼	十日町	柏崎	上越	糸魚川			
来所	31	4	13	6	2	14	9	1	1	0	1	6	0	0	0	88
		25				26						6				
電話	112	29	88	32	13	106	102	13	26	11	23	48	8	18	81	710
		162				281						56				
計	143	33	101	38	15	120	111	14	27	11	24	54	8	18	81	798
		187				307						62				

## エ 来所経路

	保健所	市町村	医療機関	福祉事務所	児童相談所	女性福祉相談所	施設	教育機関	警察機関	司法関係	その他の公的機関
来所	9	6	6	0	0	0	2	1	1	0	1
電話	19	39	41	1	5	0	4	6	2	3	9
計	28	45	47	1	5	0	6	7	3	3	10
	マスコミ	本・パンフレット	インターネット	いのちの電話	個人的紹介	精神障害者手帳	継続	直接来所 タウンページ	その他	不明	計
来所	0	6	7	0	2	0	31	0 / 1	9	6	88
電話	4	53	111	1	8	0	36	0 / 18	39	311	710
計	4	59	118	1	10	0	67	0 / 19	48	317	798

## オ 主訴別案件数

主 訴	来所	電話	計	主 訴	来所	電話	計
発達の問題	2	2	4	家庭内の問題	7	44	51
性格・行動の問題	34	223	257	診断・治療の問題	12	218	230
結婚・遺伝の問題	0	2	2	リハビリテーション	13	105	118
教育の問題	3	18	21	その他	11	61	72
職業の問題	6	37	43	計	88	710	798

## カ 診断名別案件数

診断名(疑い含む)	来所	電話	計	診断名(疑い含む)	来所	電話	計
統合失調症・妄想性障害	0	56	56	摂食障害	0	8	8
そううつ病	0	16	16	パーソナリティ障害	2	4	6
うつ病	1	60	61	精神遅滞	0	2	2
その他の気分障害	0	5	5	自閉症・アスペルガー障害	4	13	17
てんかん	0	2	2	その他の発達障害	0	14	14
老年期精神障害	0	3	3	不登校・ひきこもり	2	9	11
高次脳機能障害	34	75	109	その他	1	8	9
アルコール関連障害	0	7	7	不明	22	339	361
薬物乱用	2	4	6	障害なし	14	35	49
その他の中毒性精神障害	0	5	5	計	88	710	798
神経症性障害	6	45	51				



## 6 組織育成・支援

地域精神保健福祉活動の一環として、精神障害者家族会をはじめ各種団体に対して専門的立場から指導援助を行った。

要請機関・団体	内 容	参 加 者 (人)			備 考
		総 数	家族等	関係者	
新潟県精神医療 機関協議会	○理事会（2回）	11		11	
	○定期総会（6月25日）	26		26	
	○精神保健・医療・福祉関係者合同実践セミナー （平成28年2月19日）	242		242	
	○会報の発行（2回）				
新潟県精神 保健福祉協会	○理事会（1回）	11		11	
	○福島・山形・新潟3県連携事業	78		78	
	○ふくしま支援者サポート事業運営委員会（2回）	30		30	
	○ふくしま支援者サポート事業連携会議	34		34	
	○精神保健福祉東北大会理事会	18		18	
	○精神保健福祉東北大会	240		240	
特定非営利活動法人 新潟県精神障害者 家族会連合会	○第46回新潟県精神障害者家族会連合会大会 記念講演「本人と家族の関係、そして社会の支えを 考える～やどかりの里の実践で見えて きたこと～」 講師 公益社団法人 やどかりの里 常務理事 増田 一世	252	170	82	
	○平成28年度北信越ブロック家族会精神保健福祉研 修会 実行委員会	7		7	
脳外傷友の会 スワン	○高次脳機能障害リハビリテーション講習会 実行委員会（8月19日）	8		8	
	○高次脳機能障害リハビリテーション講習会 （8月29日）	140	※140		※関係者 を含む
柏刈家族連絡協 議会	○柏刈家族連絡協議会家族研修会	14		14	
新潟ダルク はばたきネット	○定例会（薬物依存症問題についての情報交換） （3回）	52		52	
新潟医療福祉カ レッジ	○学生実習	2		2	
計		1,164	310	854	※関係者 を含む

## 7 精神医療審査会事務

精神科病院に入院中の者の人権擁護と適正な医療の確保のために、医療保護入院届や定期病状報告書の審査と入院患者等からの退院・処遇改善の請求に関して、精神医療審査会において入院継続の要否や処遇の適否に関する審査を行った。

### (1) 開催状況

**ア 合議体** 開催回数 24回(2回/月) 出席委員数 延112人  
**イ 総会**

会議名	開催日	会場	主な議題	出席委員数
平成27年度新潟県精神医療審査会総会	平成28年3月16日	新潟県精神保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>審査状況の報告</li> <li>改正法施行にかかる各種対応について(合議体構成委員の見直し、予備委員の配置)</li> <li>退院等請求審査の効率化等への対応</li> <li>合議体審査時及び委員からの懸案事項</li> <li>精神保健福祉施策の動向(情報提供)</li> </ul>	11人

### (2) 委員

**ア 合議体** 4合議体  
**イ 委員数** 20人(医療委員12人、法律家委員4人、精神障害者の保健又は福祉に関する学識者委員4人)

### (3) 審査状況

#### ア-1 退院等の請求審査

区分	請求件数	審査件数	審査結果				意見聴取件数	取り下げ件数	退院等審査要件の消失	平均処理日数
			現在の入院形態による入院又は処遇が適当	他の入院形態への移行が適当	病状等について報告を求むることが適当	入院又は処遇は不適当				
退院請求	40	24	24	0	0	0	24	15	1	31.1
処遇改善請求	21	9	9	0	0	0	9	9	3	33.6
合計	61	33	33	0	0	0	33	24	4	31.0

#### ア-2 請求を受理してから審査結果を通知するまでの期間

区分	日数別件数					合計	平均処理日数
	30日以内	31日以上～40日以内	41日以上～60日以内	61日以上～90日以内	91日以上		
退院請求	13	6	4	1	0	24	31.1
処遇改善請求	3	2	4	0	0	9	33.6

## イ 定期の報告等の審査

区分	審査 件数	(内、 審査 継続 件数)	審査結果				実地審 査件数	意見聴 取件数
			現在の入院 形態による 入院又は処 遇が適当	他の入院形 態への移行 が適当	病状等につ いて報告を 求めること が適当	入院又は処 遇は不適當		
医療保護入院届	2,454	48	2,454	0	0	0	0	0
定期病 状報告	措置入院	11	2	11	0	0	0	0
	医療保護入院	1,425	50	1,425	0	0	0	0
合 計	3,890	100	3,890	0	0	0	0	0

## (4) 審査実施年次推移

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
審査会開催回数	24	24	24	24	24	24	24
定期病状報告書審査件数	1,623	1,735	1,641	1,660	1,670	1,524	1,436
入院届審査件数	2,398	2,599	2,579	2,301	2,371	2,319	2,454
退院等請求審査件数	45	39	57	34	25	31	33

## (5) 退院等請求相談電話の状況

件 数	内 訳		
	入院者本人	家族等	その他
290	289	0	1

## (6) 精神医療審査会関係会議等

会議名	主催	開催日	会場	主な内容	出席者数
平成27年度 全国精神医療審査会 会長会議	厚生労働省社会・ 援護局障害保健福 祉部精神・障害保 健課	平成28年 2月26日	アルカディア 市ヶ谷 (東京都)	・精神科病院に対する指導監 督の現状について ・最近の精神医療保健福祉の 動向	2人
全国精神医療審査会 連絡協議会 平成27年度 総会・精神医療審 査会委員等研修	全国精神医療審査会 連絡協議会	平成28年 2月26日	アルカディア 市ヶ谷 (東京都)	・総会 ・シンポジウム：「精神保健 福祉法次期改正に向けて ～公的保護者制度の検討」	2人

## 8 自立支援医療及び精神障害者保健福祉手帳に関する判定事務

自立支援医療費（精神通院）支給認定の適否及び精神障害者保健福祉手帳交付の可否や等級判定を行った。

### (1) 自立支援医療判定件数 ※手帳同時申請による判定を含む

判定件数	13,216
承認件数	13,129
不承認件数	19

### (2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

判定件数	2,720
承認件数	2,547
1級	183
2級	2,219
3級	145
不承認件数	27

## 9 精神科救急医療システム情報管理・情報提供

精神科救急医療システムの稼働状況の取りまとめ、当番体制の調整・管理を行った。

### 精神科救急医療システム稼働状況

(休日昼間)

平成27年度ブロック別比較

状況	ブロック					
	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	31.6%	60.9%	85.0%	51.8%	59.8%	58.3%
稼働日数	36	92	102	59	70	359
当番日数	114	151	120	114	117	616
対応件数	54	207	367	112	127	867
電話のみ	27	107	274	78	89	575
電話→来院	19	81	65	25	37	227
直接来院	8	19	28	9	1	65
処理内容	57	203	392	122	133	907
相談助言	28	103	289	84	90	594
外来診療	22	72	71	31	30	226
入院	7	28	32	7	13	87
任意入院	1	6	3	3	3	16
医療保護	6	21	22	3	9	61
その他	0	1	7	1	1	10

年度別推移

状況	年度						
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
稼働状況	56.1%	52.4%	51.2%	52.8%	54.8%	55.3%	58.3%
稼働日数	373	346	338	343	359	362	359
当番日数	665	660	660	650	655	655	616
対応件数	759	722	606	599	696	862	867
電話のみ	311	313	274	285	381	562	575
電話→来院	351	332	264	253	248	241	227
直接来院	97	77	68	61	67	59	65
処理内容	765	816	670	647	727	904	907
相談助言	324	373	301	306	408	592	594
外来診療	319	312	274	244	214	222	226
入院	122	131	95	97	105	90	87
任意入院	35	44	26	29	21	15	16
医療保護	80	80	65	64	76	70	61
その他	7	7	4	4	8	5	10

( 夜 間 )

平成 27 年度ブロック別比較

状況	ブロック					
	県北	新潟・佐渡	県央	魚沼	上越	総計
稼働状況	55.9%	58.6%	86.2%	46.2%	55.3%	67.2%
稼働日数	38	129	200	18	42	427
当番日数	68	220	232	39	76	635
対応件数	77	263	707	34	69	1,150
電話のみ	51	158	584	31	51	875
電話→来院	22	98	113	3	15	251
直接来院	4	7	10	0	3	24
処理内容	81	244	746	35	73	1,179
相談助言	53	144	595	32	53	877
外来診療	18	66	81	3	14	182
入院	10	34	70	0	6	120
任意入院	1	5	18	0	3	27
医療保護	9	28	45	0	3	85
その他	0	1	7	0	0	8

年度別推移

状況	年度						
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
稼働状況	64.1%	58.2%	57.0%	50.7%	67.8%	59.5%	67.2%
稼働日数	234	324	328	291	390	434	427
当番日数	365	557	575	574	575	730	635
対応件数	459	707	656	518	881	1,176	1,150
電話のみ	138	328	320	210	633	843	875
電話→来院	293	314	278	269	218	302	251
直接来所	28	65	58	39	30	31	24
処理内容	460	742	687	569	917	1,205	1,179
相談助言	127	348	342	239	653	856	877
外来診療	251	293	259	240	177	216	182
入院	82	101	86	90	87	133	120
任意入院	8	12	12	15	8	21	27
医療保護	73	86	67	72	76	102	85
その他	1	3	7	3	3	10	8

## 10 自殺対策

### (1) 人材育成

#### ア ゲートキーパー養成研修会

早期発見・早期対応のために、保健医療福祉従事者や自殺対策の相談業務担当者に対し、「ゲートキーパー」としての適切な相談支援能力の向上を図る研修会を開催した。  
また、リーダー養成研修を開催し、地域でゲートキーパーを養成するための講師を育成した。

【月 日】 7月6日

【会 場】 精神保健福祉センター

【内 容】 テキストを用いたワークショップ

講師：ルーテル大学自殺危機初期介入スキル研修会認定講師  
新潟大学保健管理センター 講師 村山 賢一  
三条地域振興局健康福祉環境部 主査 萩原 直美  
精神保健福祉センター 参事 保科 志貴子

【参加者】 22人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者)

【月 日】 9月14日

【会 場】 精神保健福祉センター

【内 容】 テキストを用いたワークショップを開催するリーダー養成

講師：ルーテル大学総合人間学部 教授 福島 喜代子  
新潟大学保健管理センター 講師 村山 賢一

【参加者】 16人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者)

#### イ 市町村自殺対策企画立案向上研修会(「官民共同した自殺対策の推進を考える研修会」と併催)

保健所、市町村、民間団体など自殺対策に取り組む担当者の企画立案力の向上と情報交換を目的に研修会を開催した。

【月 日】 7月15日

【会 場】 新潟市中央区 興和ビル

【内 容】 民間団体からの実践報告「僧侶という立場からの自殺防止活動への取組」

報告者：宗教法人曹洞宗東岸寺 住職 野田 尚道

講義「秋田県内における自殺予防対策の取組と今後の課題」

講師：秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻 教授 佐々木 久長

【参加者】 53人

#### ウ 多量飲酒者への効果的な介入に関する研修

アルコール問題は自殺のリスク要因となっていることから、アルコール関連問題を早期に発見し適切に介入するための知識及び効果的な保健指導について習得することを目的に研修会を開催した。

【月 日】 11月6日

【会 場】 精神保健福祉センター

【内 容】 講義及び演習

講師：(独) 国立病院機構 久里浜医療センター  
教育情報部長 真栄里 仁  
心理療法士 伊藤 満

【参加者】 56人(特定健診・保健指導従事者、保健所、市町村自殺対策相談業務担当者、職員健康管理部門担当者、就労支援従事者)

## エ ポストベンション研修会

地域精神保健福祉の一つとして、自殺対策のポストベンションにおける場のケアに取り組んでいくために、必要な知識の習得及び支援技術の向上を図ることを目的に研修会を開催した。

【月 日】12月16日

【会 場】精神保健福祉センター

【内 容】講義「自殺のポストベンションとしての場のケア」

講師：(独) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

自殺予防総合対策センター 自殺予防対策支援研究室長 川野 健治

【参加者】21人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者、職員健康管理部門担当者)

## オ 自死遺族等支援者研修会

地域精神保健福祉の一つとして、自死遺族支援に取り組んでいくために、遺族等からの相談に対する支援技術の向上を図ることを目的に研修会を開催した。

【月 日】12月16日

【会 場】精神保健福祉センター

【内 容】講義「自死遺族への支援について」

講師：(独) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

自殺予防総合対策センター 自殺予防対策支援研究室長 川野 健治

実践報告①「自死遺族支援ケースについて」

報告者：十日町地域振興局健康福祉部 精神保健福祉相談員 金子 郁美

実践報告②「自死遺族の自助グループ支援について」

報告者：自死遺族語り合いの会「虹の会」 世話人

精神保健福祉センター 副参事 河村 里絵

【参加者】34人(保健所、市町村自殺対策相談業務担当者、職員健康管理部門担当者)

## カ「求職者に対するこころとからだの健康相談」に従事する看護職への技術援助

県が日本精神科看護技術協会新潟支部に委託したハローワークでの相談事業に従事する看護職への助言指導を行った。

【月 日】平成28年3月14日

【会 場】精神保健福祉センター

【内 容】ケース対応に関する助言

【参加者】8人

## キ「いのちとこころの支援センター」専門相談員に対する技術援助

県が県内3ヶ所に開設したいのちとこころの支援センターで相談事業に従事する専門相談員に対する研修会企画及び相談業務等への助言指導を行った。

○ 新任専門相談員研修

【月 日】5月12日

【会 場】精神保健福祉センター

【内 容】講義「精神保健相談の基本」

講師：臨床心理士 榎谷 晶子

講義「相談機関が対応する精神障害とその変化」

講師：新潟市こころの健康センター 所長 福島 昇

【参加者】11人



<p>○ 専門相談員等研修会</p> <p>【月 日】 6月5日</p> <p>【会 場】 精神保健福祉センター</p> <p>【内 容】 講義「自殺ハイリスク者への基本的対応：関係づくりー見立てー介入」  講師：新潟県立大学人間生活学部子ども学科 講師 勝又 陽太郎  事例検討  事例提供者：下越地域いのちとこころの支援センター 専門相談員 伊藤 聖子</p> <p>【参加者】 26人</p>
<p>○ 業務連絡会（3回）</p> <p>【月 日】 6月5日、10月6日、平成28年1月27日</p> <p>【会 場】 精神保健福祉センター</p> <p>【参加者】 延べ30人</p>
<p>○ 中越地域いのちとこころの支援センター事例検討会</p> <p>【月 日】 12月22日</p> <p>【会 場】 精神保健福祉センター</p> <p>【参加者】 3人</p>

## ク 市町村・民間団体等主催人材養成研修会への技術支援

市町村や民間団体が開催する住民又は団体構成員に対するゲートキーパー養成研修会に対して、企画への助言や講師として開催支援を行った。

<p>市町村主催</p> <p>【月 日】 平成27年10月～平成28年1月</p> <p>【実施市町村】 燕市、見附市、魚沼市、糸魚川市 延べ5回</p> <p>【内 容】 ルーテル大学自殺危機初期介入スキル研修会のテキストを用いたワークショップや講義形式の研修会等</p> <p>【参加者】 94人</p>
---

<p>民間団体主催</p> <p>【回 数】 1回</p> <p>【内 容】 新潟県理容生活衛生同業者組合主催の研修企画への助言</p> <p>【参加者】 12人</p>
---

## (2) ポストベンション

### ア 自死遺族支援

遺族への支援の必要性についての理解を深め、支援の拡大を図るための事業を実施した。

<p>自助グループ「虹の会」への支援</p> <p>・例会（年6回：偶数月第1木曜日開催）に会場を提供し、担当2名が支援スタッフとして参加。</p>
--

### イ ポストベンション

自殺者や未遂者の発生した事業所等団体や関係機関に対して、場のケアやその後の対策への助言等支援を行い、精神的不調者や再発のリスク軽減を図ることを目的に対応した。

<p>・自殺者が発生した機関への支援 1回</p> <p>・支援機関の対応職員への支援 4回</p>
--

### (3) 働き盛りのメンタルヘルス対策事業

#### ア 働き盛りのメンタルヘルス研修会

精神保健福祉業務新任者研修会  
 【月 日】 6月 29日  
 【会 場】 新潟ユニゾンプラザ  
 【内 容】 講義「対人援助職のメンタルヘルスとセルフケア」  
 講師： 臨床心理士 櫛谷 晶子  
 【参加者】 86人

#### イ 働く人のメンタルヘルス講座

- 消費生活センター主催  
 【月 日】 平成 28 年 1 月 6 日  
 【会 場】 精神保健福祉センター  
 【内 容】 講義「働く人のこころの健康について」  
 講師：精神保健福祉センター 副参事 河村 里絵  
 【参加者】 8人（消費生活相談員）
- 新潟地方気象台主催  
 【月 日】 平成 28 年 2 月 25 日  
 【会 場】 新潟地方気象台  
 【内 容】 講義「働く人のこころの健康について」  
 講師：精神保健福祉センター 副参事 河村 里絵  
 【参加者】 21人

### (4) 市町村・関係機関・民間団体・保健所技術支援

#### ア 市町村・関係機関・民間団体支援

自殺予防対策を実施する市町村・関係機関に対して、技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
障 害 福 祉 課	自殺対策推進県民会議（2回） 若年者対策検討会	情報提供 技術支援	197人 2人
上 越 市	上越市自殺予防対策関係機関連携会議	技術支援	32人
津 南 町	こころの健康づくり検討委員会及びいのちの環代表者会議	情報提供	23人
新潟障害者職業センター	関係機関連絡会議（職場復帰支援について）	情報提供	12人
計	6回		266人

#### イ 保健所支援

自殺予防対策を実施する保健所に対して、資料の提供、会議への出席、研修会講師等を通して技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	役 割	参加者数
村上地域振興局 健康福祉部	○村上地域自殺対策推進協議会	情報提供	23人
新発田地域振興局 健康福祉環境部	○新発田地域自殺対策推進協議会	情報提供	30人
新潟地域振興局 健康福祉部	○新潟地域自殺対策推進協議会	情報提供	32人
三条地域振興局 健康福祉環境部	○県央圏域自殺対策推進協議会（2回）	情報提供	73人
長岡地域振興局 健康福祉環境部	○自殺対策事業検討 ○中越地域いのちとこころの支援センター事例検討	技術支援 技術支援	1人 3人
魚沼地域振興局 健康福祉部	○自殺ハイリスク者支援者研修会 ○魚沼地域自殺対策推進協議会	技術支援 情報提供	12人 27人
南魚沼地域振興局 健康福祉環境部	○南魚沼地域自殺対策推進協議会	情報提供	31人
柏崎地域振興局 健康福祉部	○相談窓口担当者研修会 ○柏崎・刈羽地域自殺対策推進協議会（2回）	技術支援 情報提供	18人 47人
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	○佐渡地域自殺対策推進協議会	情報提供	29人
計	14回		326人

## （5）高齢者対策

高齢福祉保健課事業に協力することにより、高齢者施策中に自殺対策を位置づけた。

- 介護予防市町村支援委員会専門部会（閉じこもり・認知症・うつ部会）への参加（年1回）
  - 地域包括支援センター職員等研修
- 【回数】1回  
【内容】ゲートキーパー養成研修の実施  
【参加者】282人

## （6）若年者対策

障害福祉課に協力し、若年層への自殺対策の推進のため、大学生をモデルとしたゲートキーパー養成研修の試行を行った。

- 【回数】1回  
【内容】講義「自殺の実態について」及びゲートキーパー養成研修の実施  
【参加者】22人

## （7）啓発普及

### ア 自殺対策推進月間における普及啓発活動

- 庁舎の懸垂幕による月間の広報

- ホームページを利用した月間の広報
- 民放ラジオ合同自殺予防キャンペーン  
9月18日、民放ラジオ合同自殺予防キャンペーンに出演し、自殺対策事業について普及啓発を行った。

#### **イ 地域自殺対策キャンペーン**

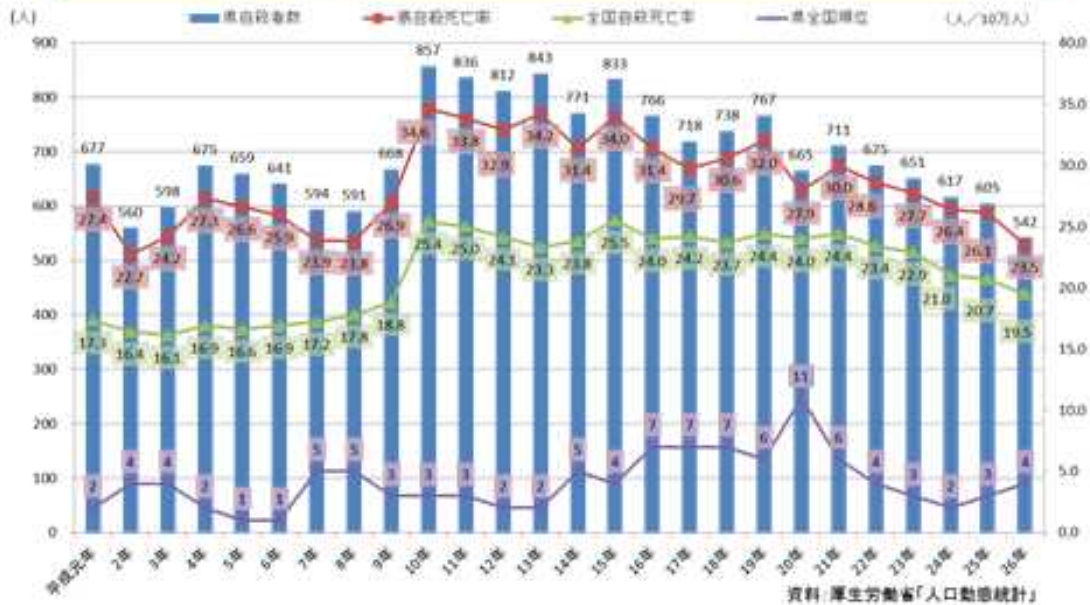
- 長岡保健所との共催により、長岡祭りで街頭キャンペーンを行った。  
8月2日、祭り参加者に自殺対策のメッセージが入った団扇や紙風船等の普及啓発用品を配布した。

#### **ウ 事業所、業界団体等主催の研修会に講師として参加し普及啓発を行った。(一部再掲)**

- 「こころの健康～精神疾患をお持ちの方への支援～」に関する講話を行った。  
7月24日、(株)ニチイ学館ヘルスケア事業新潟支店 ケアマネージャー全体研修(35人)
- 「働く人のこころの健康について」に関する講話を行った。  
平成28年1月6日 対象：消費生活センター 消費生活相談員  
平成28年2月25日 対象：新潟地方気象台 職員

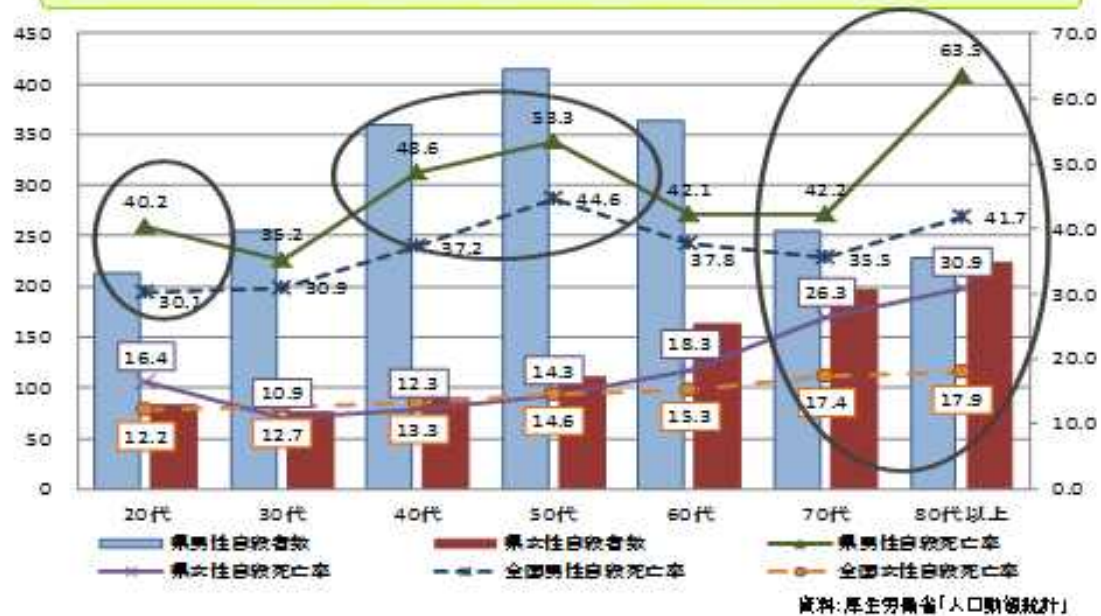
## 自殺者数・自殺死亡率の推移

- 平成26年の自殺者数は542人と平成に入り最小
- 自殺死亡率も23.5と減少するものの依然としてワースト上位で推移



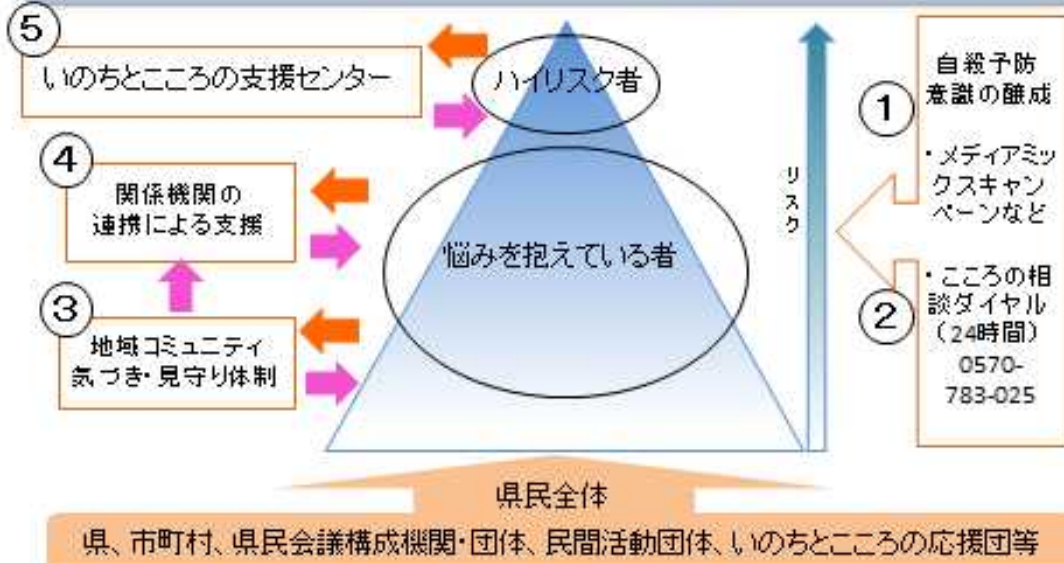
## 性別・年齢階級別自殺者数・自殺死亡率(H22-26)

- 全体 自殺者数は減少傾向。自殺死亡率はワースト上位で推移。
- 男性 全年代で全国を上回り、20代・40代・50代・70代以上で乖離が大きい。
- 女性 60代から全国を上回り、年代が進むにつれ乖離が大きくなる。



## 新潟県の自殺対策の取組 ー全体像ー

- ◎ 県民の誰もが自殺に巻き込まれることのない社会の実現を目指し、県民一人ひとりが、地域が、職場が、県全体が一丸となり、県民運動として自殺予防に取り組む。
- 県民全体へ、メディアミックス キャンペーンなどにより「気づき・見守り・つながり」の意識を醸成。
- 地域で悩みを抱えている人を身近な住民の気づきにより、早期に相談につなげるとともに、様々な分野の専門家に着実につなぎ問題解決にあたる。
- ハイリスク者について、いのちとこころの支援センターによる支援を実施。



## 精神保健福祉センターの自殺対策関係業務

### 主催事業等

#### 人材養成研修

ゲートキーパーリーダー養成研修  
減酒指導プログラムに関する研修等

#### 働き盛りのメンタルヘルス対策

新潟障害者職業センターに協力等

#### 自死遺族等への支援

・「虹の会」開催支援  
・ポストベンション

#### 相談事業

精神保健福祉相談(電話、来所)

#### 啓発普及・情報提供

ホームページを活用した啓発普及  
分析した統計データの提供

### 技術支援

#### 情報提供や助言

保健所、市町村等の会議・検討会  
での情報提供や助言

#### 技術支援①

保健所、市町村の開催する研修会  
での講義や講師の紹介

#### 技術支援②

民間団体の行うゲートキーパー  
養成研修など事業への支援

#### 技術支援③

企業・事業所への出前講座

## 11 思春期精神保健相談事業

### (1) 来所相談（再掲）

適応障害や精神疾患等の思春期の心の問題の解決を図るため、年18回思春期精神保健相談を開設し、専門的診断・指導を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	8	8
女	2	2
計	10	10

#### イ 性別・年齢別実件数

	～14	15～19	20～	計
男	0	5	3	8
女	0	0	2	2
計	0	5	5	10

#### ウ 診断名別実件数

診断名	件数	診断名	件数
気分障害	0	発達障害	1
神経症性・ストレス関連障害	1	無し	2
人格障害	1	不明	4
不登校・ひきこもり	1	計	10

#### エ 処遇別実件数

処遇方法	件数
医療機関等に紹介	1
相談継続	0
助言指導	9
計	10

### (2) ひきこもり当事者グループ及び家族学習会

#### ア ひきこもり当事者グループ「シエスタ」

開催日	実施回数	参加人数	主な活動内容
毎週水曜日 10:00～11:30	43回	実 3人 延 86人 (他 見学1人)	語り合い、スポーツ、ゲーム、調理、外出、チラシ作りなど

#### イ ひきこもり家族学習会 1回 参加者6人

講義「フォルトネットにおけるひきこもり支援の取り組みについて」

講師：フォルトネット 代表 関口 美智江

#### ウ 自主グループ「ひきこもり家族交流会」への支援 年3回 参加者13人

### (3) 関係職員研修

#### ア 思春期・青年期精神保健福祉研修会

思春期・青年期における専門知識の習得・対応技術の向上、ネットワーク活動の推進を図るため、関係機関の職員に対して研修を行った。

月日 (会場)	内容	参加人数
9月9日 (新発田 地域振興局 大会議室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政説明・報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟県及び新発田管内の自殺の現状について</li> <li>・下越地域いのちとこころの支援センターの活動について</li> </ul> </li> <li>○講義「若年者の自傷行為・自殺未遂の理解とその対応」 講師：新潟県立大学 人間生活学子ども学科 講師 勝又 陽太郎</li> <li>○グループによる意見交換 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各機関における若年層の自殺関連行動（未遂、自傷行為）の実情と対応、課題について</li> </ul> </li> </ul>	34人
12月5日 (パストラ ル長岡 2階 平安の間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演「希望の持てるひきこもり支援 ～若者、家族、社会でつくる新たなコミュニティ～」 講師：徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 境 泉洋</li> </ul> <p>※ひきこもり講演会と兼ねて実施した。</p>	220人

#### イ 新潟県精神医療・保健・福祉関係者合同実践セミナー（再掲）

月日 (会場)	内容	参加人数
平成28年 2月19日 (新潟県民会館 小ホール)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演「潜んでいる青年の回復力に会うには」 講師：日本臨床心理士会 会長 村瀬 嘉代子</li> <li>・シンポジウム「若者支援の実際」 シンポジスト： 万代こころのクリニック 精神保健福祉士 五十嵐 礼 新潟県精神保健福祉センター 主査 清野 美佐緒 三条地域若者サポートステーション 統括コーディネーター 関野 香織 NPO 法人 えちご若者元気塾 理事長 藤田 健男 新潟大学医学部医学科総合医学教育センター 准教授 澁谷 雅子</li> </ul> <p>座長：南浜病院 院長 後藤 雅博 助言者：基調講演講師 村瀬 嘉代子</p>	242人



#### (4) 調査研究

○平成 26 年度中の市町村における青少年を中心とした「ひきこもり」の対応状況等について

- ア 目的 市町村における青年期を中心とした「ひきこもり」の相談、支援状況及び問題点を把握する。
- イ 調査期間 平成 27 年 4 月 10 日から 5 月 14 日
- ウ 方法 市町村に質問紙を郵送またはメール送信し、ファクシミリにて回答を得た。
- エ 実績 結果を市町村、保健所に送付した。

#### (5) 技術支援

要請機関	内 容	役 割	参加者数
新発田地域振興局 健康福祉環境部	下越地域いのちとこころの支援センター ケース検討 (2 回)	情報提供	7 人

## 12 ひきこもり地域支援センター事業

平成25年4月に県ひきこもり地域支援センターが県障害福祉課内に設置された。当所は協力機関として、ひきこもり相談ダイヤルへの対応等専門相談、関係職員等への研修、普及啓発、市町村等への技術支援を行った。

### (1) ひきこもり相談ダイヤル

ひきこもり相談ダイヤルを設置し、ひきこもりで悩んでいるご本人やご家族からの電話相談に対し、必要な支援・援助活動を行った。

#### ア 相談件数

	実件数	延件数
男	61	75
女	33	67
不明	6	6
計	100	148

#### イ 性別・年齢（実件数）

	10代	20代	30代	40代	50代 ～	不明	計
男	12	26	8	9	5	1	61
女	3	6	6	6	1	11	33
不明	3	1	0	0	0	2	6
計	18	33	14	15	6	14	100

#### ウ ひきこもりの期間（実件数）

ひきこもりの期間	件数
6ヶ月未満	16
1年未満	11
3年未満	16
5年未満	7
7年未満	7
10年未満	7
10年以上	9
不明	23
計	96

\*ひきこもり以外の相談（4件）を除く

#### エ 現在の状況（実件数）

現在の状況	件数
自室からほとんど出ない。出かけてもコンビニ程度	42
普段は家に閉じこもり気味だが、趣味に関するのみ出かける	19
友人との付き合いや、地域活動に参加しているが、未就労	8
不明・その他	27
計	96

\*ひきこもり以外の相談（4件）を除く

#### オ 主訴（延べ件数）

主訴	件数
発達の問題	0
性格・行動の問題	104
結婚・遺伝の問題	0
教育の問題	4
職業の問題	8
家庭内の問題	5
診断・治療	16
リハビリテーション	6
その他	5
計	148

#### カ 処理内容（延べ件数）

処理内容	件数
紹介	30
助言	91
ケースワーク	2
医学的指導	1
その他	24
計	148

## (2) ひきこもり支援従事者研修会

ひきこもりに関する基礎知識及び技術について学び、支援技術の向上を図るため、市町村、保健所等関係機関の職員に対して研修を行った。

月日 (会場)	内 容	参加人数
平成 28 年 2 月 1 日 (精神保健 福祉センター)	○講演「ひきこもり相談への効果的なアプローチ ～受理から訪問支援 (アウトリーチ) のポイント～」 講師：東京都医学総合研究所 こころの健康プロジェクト 精神保健看護研究室 主任研究員 新村 順子  ○事例検討 助言者：東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト 精神保健看護研究室 主任研究員 新村 順子	52 人

※ひきこもりサポーター養成研修を兼ねて実施した。

## (3) ひきこもり講演会 (思春期青年期精神保健研修会) (再掲)

ひきこもりの方への理解を深め、家族や支援者の望ましい対応について学ぶことにより支援の充実を図ることを目的に講演会を実施した。

月日 (会場)	内 容	参加人数
12 月 5 日 (パストラル 長岡 2 階 平安の間)	○講演「希望の持てるひきこもり支援 ～若者、家族、社会でつくる新たなコミュニティ～」 講師：徳島大学大学院 ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 准教授 境 泉洋	220 人

※思春期青年期精神保健研修会と兼ねて実施した。

## (4) 技術支援 (再掲)

ひきこもり対策を実施する市町村、保健所等関係機関に対して、技術支援を行った。

要請機関	内 容	役 割	参加者数
新発田市社会福祉協議会	若者自立支援事業「親のサロン」	情報提供	5 人
	若者自立支援のための関係機関・団体情報 交換会	情報提供	15 人
柏崎市	ひきこもり事例検討会	助 言	5 人
魚沼地域振興局健康福祉部	魚沼地域ひきこもり支援に関する検討会	情報提供	9 人
障害福祉課	新潟県ひきこもり対策連絡協議会	情報提供 技術支援	21 人
計			34 人

## 13 災害後の精神保健福祉対策

### (1) こころの緊急支援事業

県民の生命に関わる事件・事故及び災害等で、その衝撃が学校や地域などに深刻な心理的影響を及ぼすおそれがある事案の発生時に、こころの健康管理対策を実施する現地の機関を側面支援するため、派遣要請に応じることが妥当と判断した場合、職員を派遣する。

○こころの緊急支援事業の支援員研修を兼ねて、災害後のこころのケア研修会を開催

【月 日】平成 28 年 1 月 27 日

【会 場】当所 研修室

【内 容】講義「災害後のこころのケア」

講師：国立精神・医療研究センター精神保健研究所

成人精神保健研究部長 災害等支援研究室長 鈴木 友理子

【参加者】55 人

### (2) 事件・事故に係るポストベンションへの対応

事件・事故等の発生した現場でのこころのケアの要請に応じられる体制をとっていた。  
平成 27 年度は要請がなかったため、実績なし。

### (3) 東日本大震災への対応

福島県から事業委託を受けた新潟県精神保健福祉協会の事務局として、東日本大震災及び原発事故の被災者のこころのケアのための「福島県外被害者の心のケア事業」の運営に協力した。

○ふくしま支援者サポート事業連携会議への出席 2 回

○運営委員会への出席 2 回

○「心のケア」福島・山形・新潟三県連携事業への出席 2 回

### (4) こころのケアセンターへの協力

平成 16 年 10 月 23 日発生の中越大震災及び平成 19 年 7 月 16 日発生の中越沖地震の被災者に対する「こころのケア事業（復興基金事業）」が、それぞれ平成 27 年 2 月末日、平成 27 年 3 月末日で終了となった。

こころのケア事業で作成した調査報告書等について、事業委託を受けた新潟県精神保健福祉協会の事務局として引き継ぎ、保管、管理を行った。

○当所ホームページ「災害時のこころのケア」において、調査報告書等を公開

○普及啓発資材（パネル、チラシ、DVD）の提供及び貸出

## 14 障害者総合支援法関連事業

### (1) 精神障害者地域移行・地域定着支援事業

#### ア 研修会の開催

精神障害者の地域移行・地域定着支援に関する知識の普及や関係者の資質向上を図るため、保健所・障害者地域生活支援センター、精神科病院、市町村、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所等に対して研修を行った。

月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>精神障害者地域移行支援研修会</p> <p>10月10日 (新潟ユニゾンプラザ大研修室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践報告「平成26年度の研修会(演習)で立案した行動(案)に基づく取り組みについて」 報告者：中条第二病院 真野みずほ病院</li> <li>講義「地域移行支援における医療と福祉の連携について ～地域アセスメントと仕組みづくりと仕掛けを考える～」 講師：地域生活支援センター サポートセンター きぬた 地域移行コーディネーター・精神保健福祉士 金川 洋輔</li> <li>演習「地域移行支援を推進するために私たちの病院や事業所そして地域でできることを考えよう」 助言者：地域移行コーディネーター・精神保健福祉士 金川 洋輔 主催：新潟県精神保健福祉士協会、新潟県精神保健福祉センター 共催：新潟県精神科病院協会、日本精神科看護協会新潟県支部、 新潟県作業療法士会、新潟県精神障害者社会福祉施設協議会、 新潟県臨床心理士会、新潟県相談支援専門員協会、新潟市</li> </ul>	131人
<p>第1回 地域移行・地域定着支援強化研修会</p> <p>6月1日 (対象) 専門相談員、保健所</p>	<p>テーマ：高齢長期入院精神障害者の退院支援の現状と課題 ～現状と課題を共有し取組課題を整理する～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話題提供「高齢長期入院精神障害者の退院支援の現状と課題 ～送り出す側と受け入れ側のそれぞれの支援の現状と課題を共有する～」 報告者：田宮病院 精神保健福祉士 吉原 智幸 精神保健福祉士協会事務局 精神保健福祉士 吉川 牧子 特別養護老人ホーム白ふじの里 施設長 佐野 一美</li> <li>グループワーク</li> <li>全体共有</li> </ul>	24人
<p>第2回 地域移行・地域定着支援強化研修会</p> <p>平成28年3月10日 (対象) 専門相談員、保健所、 相談支援事業所等</p>	<p>テーマ：高齢・重度化する長期入院患者の地域移行支援の方向性 ～高齢精神障害者対応型GH「おきな草」、「福寿草」の取り組みから学ぶ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>講義「グループホームにおける高齢精神障害者支援 ～横浜市のモデル事業の実践から～」 講師：高齢精神障害者対応型GH「おきな荘」、「福寿草」 管理者・精神保健福祉士 櫻庭 孝子</li> <li>報告「高齢長期入院精神障害者の地域移行の現状と課題 ～高齢福祉施設等への聞き取りから～」 報告者：精神保健福祉センター職員</li> <li>意見交換</li> </ul>	39人

## イ ピアサポート活動の推進

平成 24 年度から県事業要綱で「ピアサポーターの活動の推進」が圏域センターと保健所の役割とされたことを受け、各圏域でピアサポート活動に取り組む当事者及び支援者の圏域間交流を図るため、当事者と支援者による検討会を開催。また、全県を対象とした研修・交流会を開催した。

### ○ピアサポート活動に関する検討会

日時 (会場)	内 容	参加者数
第1回 6月13日(土) (直江津学びの交流館他)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域間の情報交換と参加者交流</li> <li>・今年度のピアサポートに関する研修・交流会の開催内容等の検討</li> </ul>	18人
第2回 7月25日(土) (新発田市ボランティアセンター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域間の情報交換と参加者交流</li> <li>・今年度のピアサポートに関する研修・交流会のプログラム、周知方法等の検討</li> </ul>	30人

### ○研修・交流会

日時 (会場)	内 容	参加者数
リカバリーとピアサポートに関する 研修・交流会 11月8日(土) (新発田市カルチャーセンター 視聴覚室・展示室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「リカバリーとピアサポートとは」 講師：地域精神保健福祉機構コンボ 共同代表 宇田川 健</li> <li>・リカバリーストーリーを語る／聴く 報告者：ピアサポートに関する検討会メンバー等 2名</li> <li>・講義「ピアサポートがもたらすこれからの可能性」 講師：地域精神保健福祉機構コンボ 共同代表 宇田川 健</li> <li>・活動報告「下越圏域におけるピアサポート活動について」 報告者：Hands to hands メンバー</li> <li>・グループワーク</li> </ul>	105人

## ウ 精神障害者地域移行・地域定着支援事業担当者連絡会議の開催

精神障害者地域移行・地域定着支援事業担当者の情報交換と事業の具体的内容等の検討を目的に担当者連絡会議を2回開催した。

日時 (会場)	内 容	参加者数
第1回 6月1日 (精神保健福祉センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度の事業方針と計画について</li> <li>・新潟県障害者地域生活支援センター事業について</li> <li>・「高齢部門との連携」にかかる予備調査から（報告と検討）</li> <li>・情報交換</li> </ul>	24人
第2回 平成 28 年 3 月 10 日 (精神保健福祉センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度事業実施状況</li> <li>・平成 28 年度事業実施体制と内容</li> <li>・情報交換</li> </ul>	18人

## エ 圏域部会等への出席(再掲)

障害福祉圏域単位で開催される地域移行支援部会等へ出席し、情報提供等を行った。

圏 域	内 容	実 績
下越圏域	下越圏域第2回精神障害者地域移行・地域定着支援部会	20人
新潟圏域	精神科病院と地域機関との連絡会打ち合わせ (南浜病院)	4人
	地域精神医療連絡会打ち合わせ (新津信愛病院)	5人

	新潟圏域精神障害者地域移行支援部会	20人
中越圏域	中越圏域自立支援連絡調整会議地域移行支援部会	43人
	精神科病院と地域機関との連絡会（関病院）	27人

#### オ 新潟県自立支援協議会関係会議への出席(再掲)

自立支援協議会関係会議の他、障害者地域生活支援センター事業の見直しに関して、精神障害者への支援に関する県の拠点相談機関として出席した。

会 議 名	実 績
新潟県自立支援協議会	3回(103人)
新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会	2回(29人)
新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会人材育成チーム全体会	2回(21人)
新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会人材育成チームワーキング	4回(26人)
新潟県自立支援協議会担当者会議	2回(53人)
新潟県障害者地域生活支援センター事業担当者連絡会議	1回(42人)
アドバイザー事業担当者連絡会議(コロニーにいがた白岩の里主催)	2回(32人)
新潟県障害者地域生活支援センター事業相談支援拠点担当者打ち合わせ	2回(13人)
発達障害者地域支援マネージャー担当者会議	1回(30人)

#### カ その他(調査、報告書の作成、関係機関・団体との連携会議)

内 容		実 績
高齢部門との連携にかかる予備調査	<p>高齢分門担当者と検討する課題の絞り込みを行うため、精神科病院での認知症を除く高齢長期入院精神障害者の現状と退院支援の概況を把握することを目的として実施。</p> <p>対 象 精神科病院(各圏域1か所程度)</p> <p>調査方法 調査票による聞き取り調査</p>	<p>介護度の高い高齢長期入院精神障害者が多い等の結果から、高齢施設と精神科病院への聞き取り調査を実施</p>
高齢福祉施設と精神科病院への聞き取り調査	<p>高齢福祉施設における受け入れ等の現状、精神科病院との連携状況等を把握するとともにし、関係者が情報を共有し、地域移行を推進する方策を検討することを目的として実施。</p> <p>対 象 高齢福祉施設及び精神科病院</p> <p>調査方法 調査票による聞き取り調査</p>	<p>精神障害者地域移行支援部会で調査結果を報告</p>

## (2) 高次脳機能障害相談支援センター事業

### ア 相談支援実績（再掲）

相談支援件数 817 件（延べ件数） 相談支援者数 40 人（実人数）

直接相談（延べ件数）				間接相談（延べ件数）				計	ケース会議			
電話	来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行）	電話	来所	メール・書簡	その他（訪問・出張・同行）		主催		協力	
									開催数	参加者数	開催数	参加者数
204	42	9	28	478	7	12	37	817	26	31	19	58

※直接相談は当事者・家族からの相談、間接相談は関係機関（行政・医療・福祉等）からの相談とする。

### イ 普及啓発

高次脳機能障害についての理解を深め、支援の充実を図ることを目的に実施した。

脳外傷友の会「スワン」、上越蓮の会、長岡市及び長岡地域振興局健康福祉環境部共催。

月日（会場）	内 容	参加者数
高次脳機能障害 支援フォーラム  平成 28 年 3 月 12 日 (アオーレ長岡)	<p>○講演「ひとりひとりの社会参加をめざして ～笑い太鼓の活動を通じて～」 講師：特定非営利活動法人 高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」 高次脳機能障害者支援センター 施設長 加藤 俊宏</p> <p>○当事者・家族による公開座談会 座長：新潟リハビリテーション大学 医療学部リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 佐藤 厚 助言：特定非営利活動法人 高次脳機能障害者支援「笑い太鼓」 高次脳機能障害者支援センター 施設長 加藤 俊宏</p> <p>○県内関連団体の紹介パネル</p>	101 人

### ウ 関係職員研修の開催

医療福祉関係者の知識、支援技術の向上を図るために研修会を実施した。

月日（会場）	内 容	参加者数
福祉関係職員等研修会 6 月 2 日 (精神保健福祉センター)	<p>○講義「高次脳機能障害の症状 よりよい支援を可能にする 知識」 講師：新潟リハビリテーション大学 医療学部リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 佐藤 厚</p>	41 人



月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>医療関係職員等研修会 11月3日 (燕三条地場産業 振興センター)</p>	<p>○講義「高次脳機能障害者の社会参加までの医療機関での対応」 講師：総合リハビリテーションセンターみどり病院 医師 工藤 由理</p> <p>○事例紹介と意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多職種連携により就労が可能となった事例」 総合リハビリテーションセンターみどり病院 リハビリテーション科 医師 工藤 由理 医療福祉相談課 医療ソーシャルワーカー 長谷川 梓 新潟市障がい者就業支援センターこあサポート センター長兼就業支援員 樋口 督水</li> <li>・「記憶障害及び注意障害を主体とした高次脳機能障害を呈した一例の社会復帰支援について－職場復帰と運転再開－」 新潟リハビリテーション病院 言語聴覚科 主任 言語聴覚士 佐藤 卓也</li> <li>・「急性期一般病院における高次脳機能障害者への支援について 当院における現状と過去の関わりの事例紹介」 燕労災病院 中央リハビリテーション診療部 作業療法士 松本 潔</li> </ul>	<p>66人</p>
<p>ケース検討会  7月17日 11月27日 平成28年3月7日 (精神保健福祉センター)</p>	<p><b>【検討事例】</b> 「興奮時の対応や家族の障害受容の支援について」 「在宅介護が可能になり、サービス利用が終了した方への支援」 「記憶障害や他者に対するクレーム・固執など問題行動のある方への対応や支援について」 「就労継続支援 B 型に通所している方への家族も含めた支援体制の構築について」</p> <p><b>【事例提供者】</b> 新潟市障がい者基幹相談支援センター西 主任相談員 竹田 一光 らいふ・すていしょん 生活支援員 小出 千秋 阿賀野病院 医療ソーシャルワーカー 佐藤 祐美 魚野の家 生活支援員 白井 佳介</p> <p>助言者：新潟医療福祉大学 医療技術学部言語聴覚学科 同大学 大学院保健学専攻 教授 今村 徹</p> <p>※ケース処遇研修を兼ねて実施</p>	<p>延べ73人</p>

## エ 技術支援

### (ア) 圏域別支援従事者研修会への技術支援

二次保健医療圏の各圏域において、高次脳機能障害支援に従事する関係者に対して、高次脳機能障害に関する基本的な知識及び支援手法等の普及を図り、関係者の資質向上を図るとともに、各圏域における支援ネットワークの構築に資するため、保健所主催で実施する圏域別支援従事者研修会への技術支援を行った。

月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>【下越圏域】 平成 28 年 3 月 1 日 (サン・ワーク しばた)</p>	<p>○講義「高次脳機能障害の症状～より良い支援を可能にする知識」 講師：新潟リハビリテーション大学 医療学部リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 佐藤 厚</p> <p>○事例報告 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 土田 瑞峰</p> <p>○グループワーク 助言者：新潟リハビリテーション大学 医療学部リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 佐藤 厚</p>	40 人
<p>【新潟圏域】 平成 28 年 2 月 3 日 (新潟市総合保健 医療センター)</p>	<p>○講義「学校現場における高次脳機能障害児の支援」 講師：千葉兼千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援センター長 大塚 恵美子</p> <p>○行政説明 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 土田 瑞峰</p>	45 人
<p>【県央圏域】 10 月 1 日 (三条商工会議所)</p>	<p>○講義「高次脳機能障害の理解とその対応について」 講師：新潟医療福祉大学 医療技術学部作業療法学科 教授 能登 真一</p> <p>○情報提供「新潟県の高次脳機能障害支援体制について」 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 土田 瑞峰</p> <p>○事例紹介 ・「障害受容が困難で、今後の方針が定まらない事例」 紹介者：障がい者就労・生活支援センターハート 就業支援ワーカー 山本 浩一 ・「感情コントロールが困難で、対人トラブルが多い事例」 紹介者：障がい者就労・生活支援センターハート 就業生活支援ワーカー 谷地田 由香理</p>	59 人

月日 (会場)	内 容	参加者数
<p>【中越圏域】</p> <p>12月18日</p> <p>(長岡地域振興局)</p>	<p>○講義「高次脳機能障害の理解とその対応について」 講師：新潟医療福祉大学 医療技術学部作業療法学科 教授 能登 真一</p> <p>○情報提供「新潟県の高次脳機能障害支援について」 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 土田 瑞峰</p> <p>○事例報告「入院中から相談につながり地域生活に結びついた事例」 報告者：元気館障害者デイサービスセンター 相談支援専門員 渡辺 信也</p> <p>助言者：新潟医療福祉大学 医療技術学部作業療法学科 教授 能登 真一</p>	51人
<p>【上越圏域】</p> <p>12月12日</p> <p>(上越市教育プラザ)</p>	<p>○講義「高次脳機能障害の具体的な対処方法について」 講師：新潟医療福祉大学 医療技術学部言語聴覚学科 教授 今村 徹</p> <p>○事例提供 提供者：ほっと妙高ワークセンター サービス管理責任者 尾崎 薫</p> <p>○情報提供 高次脳機能障害相談支援センター 相談支援コーディネーター 土田 瑞峰</p>	31人

#### (イ) 関係機関・団体への技術支援

高次脳機能障害に関する研修会等を実施する関係機関・団体等に対して、技術支援を行った。

要請機関	内 容	役割	参加者数
一般社団法人 新潟県作業療法士会	第12回新潟県作業療法学会 ワークショップ (就労支援)	講 師	45人
社会福祉法人 加茂市社会福祉協議会	思いやりの地域づくり講習会	講 師	36人
新潟市地域包括支援 センター山の下	山の下圏域訪問介護事業所 連絡会議・研修会	講 師	17人

## オ 組織育成

高次脳機能障害に関する研修の機会拡大のため、関係団体が実施する研修会の支援を行った。

月日 (会場)	内 容	参加者数
高次脳機能障害 リハビリテーション 講習会  8月29日 (新潟県障害者 交流センター)	主催：高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員会 共催：脳外傷友の会「スワン」  ○講演 「高次脳機能障害支援 ～家族・学校・専門機関がつながって支援を考える～」 講師：千葉兼千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害アドバイザー 太田 令子  ○講演「苦悩から感謝に変わって思う事」 講師：NPO法人いわて脳外傷友の会イーハトーヴ 副代表 小林 真由美	140人

## カ 家族支援

高次脳機能障害者の家族が、障害についての理解を深め、負担感・孤独感の軽減と対応力の向上を図ることを目的に実施した。

### (ア) 家族教室 (会場：上越保健所)

月 日	内 容	参加者数
第1回 9月8日	○講話「高次脳機能障害についての基礎知識～主な症状とその対応～」 講師：新潟労災病院 中央リハビリテーション部 言語聴覚士 宮澤 光一郎	延べ13人
第2回 10月13日	○講話①「障害者の相談支援について」 講師：ほっと妙高ワークセンター サービス管理責任者 尾崎 薫 ○講話②「障害者の就労支援について」 講師：障害者就業・生活支援センターさくら 就業支援ワーカー 鈴木 潤子 ○講話③「日常生活自立支援事業及び成年後見制度について」 講師：上越市社会福祉協議会 権利擁護生活支援係 主任 大山 真鶴佳	
第3回 11月20日	○講話「高次脳機能障害のご家族の体験談」 講師：高次脳機能障害者のご家族 ○参加者と講師の語り合い 助言者：新潟労災病院 中央リハビリテーション部 言語聴覚士 宮澤 光一郎	

### (イ) 家族のつどい (会場：精神保健福祉センター)

期間	対象	参加者	プログラム
6月から 平成28年2月 (隔月)全5回	高次脳機能障害者のご家族	延べ 26人	語り合い (1時間30分)

**(ウ) 家族のつどい (共催及び技術支援)**

主催	会場	期間	対象	参加者	プログラム
長岡地域振興局 健康福祉環境部	長岡地域振興局 健康福祉環境部	7月から 平成28年1月 (全4回)	高次脳機能 障害者の ご家族	延べ19人	語り合いや高次脳 機能障害に関する 学習ほか (1時間30分)
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	佐渡総合病院	7月から 平成28年1月 (全3回)		延べ13人	語り合いや高次脳 機能障害に関する 学習ほか (2時間)

**(エ) 当事者・家族のつどい**

主催	会場	期間	対象	参加者	プログラム
三条地域振興局 健康福祉環境部 精神保健福祉 センター	燕三条地場産業 振興センター	12月6日 (1回)	高次脳機能 障害者の ご家族及び 当事者	17人	当事者グループと 家族グループに分 かれて話し合い (1時間30分)

**キ 支援体制整備の推進**

**(ア) 高次脳機能障害相談支援地域拠点連絡会議の開催**

高次脳機能障害相談支援地域拠点における相談支援の現状や課題について情報交換を行い、地域拠点機能の充実を図ることを目的に開催した。

月日 (会場)	内容	参加者数
6月2日 (精神保健福祉 センター)	○報告 平成27年度国の運営方針／平成27年度県の事業計画／平成27 年度各圏域の事業計画／支援事例について ○情報交換 圏域の実態把握等について	17人
平成28年3月7日 (精神保健福祉 センター)	○報告 平成27年度第2回運営委員会について／平成27年度事業実績 ／平成28年度国の運営方針／平成28年度県の事業計画) ○情報交換 圏域別支援従事者研修、家族支援等について	14人

**(イ) 高次脳機能障害支援拠点運営委員会の出席 (主催：障害福祉課)**

高次脳機能障害支援拠点の運営、県の支援の現状と課題、県の支援体制整備に関することを検討する高次脳機能障害支援拠点運営委員会に出席し、報告等を行った。(2回)

## 15 依存症対策

### (1) 薬物依存関係相談対応研修

薬物依存症に関する相談に対応する地域振興局健康福祉(環境)部・保健所の精神保健福祉相談員、薬物乱用防止対策担当者、精神保健福祉センター相談員等を対象に、薬物依存とその治療に関する基礎的知識習得や、関係機関の取り組み状況の共有を目的とした研修を実施した。

月日(会場)	内 容	参加者数
9月11日 (精神保健福祉センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義「薬物依存症からの回復と家族への相談支援」 講師：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ</li> <li>・取組報告「家族会活動について」 報告者：新潟県薬物依存症者を抱える家族の会 世話人代表 小西 憲</li> <li>・講義「ギャンブル依存の理解と対応」 講師：ギャンブル依存症問題を考える会 代表 田中 紀子</li> </ul>	36人

### (2) アルコール・薬物依存症者の家族教室

アルコール・薬物依存症問題を抱える人の家族を対象に、疾病及び対応方法、社会資源等の正しい知識を提供し、家族の対処技能の向上及び精神的負担の軽減を目指すため、新潟市と協働で開催。

	月日(会場)	内 容	参加者数
第1回	9月7日 (新潟市こころの健康センター)	テーマ「依存症とは」 講師：新潟市こころの健康センター 所長 福島 昇 助言：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ	12人
第2回	10月5日 (新潟市こころの健康センター)	テーマ「上手なコミュニケーションで本人を治療につなげる」 講師：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ	9人
第3回	11月2日 (新潟市こころの健康センター)	テーマ「長期的な回復を支え、再発・再使用に備える」 講師：新潟市こころの健康センター職員 助言：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ	10人
第4回	12月7日 (新潟市こころの健康センター)	テーマ「家族のセルフケア」 講師：精神保健福祉センター職員 助言：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ	10人
第5回	12月21日 (新潟市こころの健康センター)	テーマ「まとめ～自分自身の目標を話してみましよう～」 助言：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ	10人

「アルコール・薬物依存症の家族教室」終了後に家族教室参加者による家族交流会を開催。

月日(会場)	内 容	参加者数
平成28年2月23日 (新潟市こころの健康センター)	家族教室終了後の様子、変化、現在の目標、困っていること、相談したいこと等について報告、意見交換。 助言：新潟医療福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 准教授 近藤 あゆみ	9人

### (3) 関係機関・民間団体等への技術支援

関係機関や民間団体が開催する会議への参加、研修会講師等を通じて技術支援を行った。

要 請 機 関	内 容	参加者数
新潟保護観察所	「覚せい剤事犯者等の地域支援担当者会議」への出席 新潟県における薬物依存のある刑務所出所者等の支援に関する地域連携ガイドラインの検討	5回 計40人
新潟保護観察所	「覚せい剤事犯者等地域支援連絡協議会」への出席	30人
新潟保護観察所	「薬物問題講習会」講師	28人
新潟ダルクはばたきネット	「新潟ダルクはばたきネット定例会議」への出席	3回 計57人
新潟県薬物依存症を抱える家族の会 新潟ダルク	「薬物依存症フォーラム」での情報提供	250人

## 16 協 議 会 等

関係機関の主催する各種協議会等に参加し、連携・支援を行った。

主 催 者	会 議 等 の 名 称	出席者数(延)
新潟県医師会	新潟県産業保健連絡協議会	1人
新潟県被害者支援連絡協議会	新潟県被害者支援連絡協議会定期総会	1人
新潟保護観察所	新潟県薬物事犯者等地域支援連絡協議会	2人
新潟障害者職業センター	新潟地域精神障害者雇用支援連絡協議会	1人
コロニーにいがた白岩の里	アドバイザー事業担当者連絡会議	1人
新潟県はまぐみ小児療育センター	新潟県発達障がい者支援連携会議	1人
県児童家庭課	新潟県要保護児童対策地域協議会	1人
	新潟県配偶者暴力防止実務担当者会議・新潟県配偶者暴力防止連絡会議	1人
		1人
県高齢福祉課	介護予防市町村支援委員会専門部会（閉じこもり・認知症・うつ部会）	1人
県障害福祉課	新潟県精神保健福祉審議会	2人
	新潟県自殺対策推進県民会議（2回）	4人
	精神保健指定医会議・精神科病院事務長看護部長会議	4人
	新潟県措置入院制度連絡調整会議	2人
	新潟県・新潟市精神科救急医療システム連絡調整委員会	2人
	新潟県自立支援協議会（3回）	3人
	新潟県自立支援協議会精神障害者地域移行支援部会（2回）	4人
	新潟県自立支援協議会担当者会議（2回）	2人
	新潟県高次脳機能障害支援拠点運営委員会（2回）	4人
	新潟県ひきこもり対策連絡協議会	1人
	県央地域の精神医療体制を考える会	1人
ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会	ひきこもり地域支援センター全国連絡協議会（2回）	2人
国立障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害支援普及全国連絡協議会（2回）	3人
国立障害者リハビリテーションセンター	高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議（2回）	2人
高次脳機能障害支援普及関東甲信越ブロック会議	高次脳機能障害支援普及関東甲信越ブロック会議	2人
厚生労働省	関東信越地区薬物中毒対策連絡会議	1人
関東信越関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会役員会（さいたま市）	1人
	関東甲信越ブロック精神保健福祉センター連絡協議会（さいたま市）	2人
全国精神保健福祉センター長会	全国精神保健福祉センター長会議（長崎県）	1人
全国精神保健福祉センター研究協議会	第51回全国精神保健福祉センター研究協議会（長崎県）	1人



## 新潟県精神保健福祉センター

〒950-0994

新潟市中央区上所2-2-3

ユニゾンプラザハート館

電 話 025 (280) 0111

F A X 025 (280) 0112